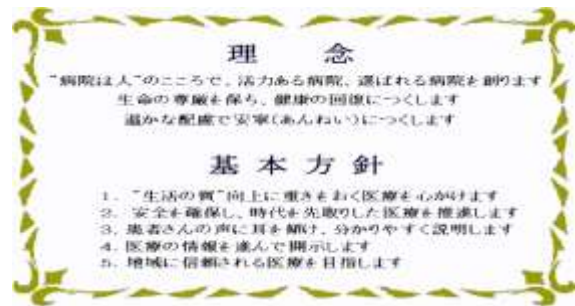


診察などでお待ちの間にお読み頂くパンフレットです。



平成 31 年 3 月 1 日 発行
KKR 札幌医療センター
〒062-0931
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40
電話 (011) 822-1811
<http://www.kkr-smc.com>

(31-3号)



健康関連用語 - シリーズ 112

3月(弥生)のこよみ

- 3月 3日 (日) ひな祭り、耳の日
- 3月 14日 (木) ホワイトデー
- 3月 21日 (木) 春分の日

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。春とはいっても朝夕はまだまだ冷え込みますが、皆さんお元気にされていますか。

3月3日といえば、一般的には「ひな祭り」ですが、「耳の日」でもあります。1956年に日本耳鼻咽喉科学会が制定したもので、「難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したいという、社会福祉への願いから始められた」とのことです。電話を発明したグラハム・ベルの誕生日が3月3日で、ベルはろう教育者でもあったそうです。顔の中で、どちらかというあまり注目を浴びる機会の少ない耳ですが、耳の日に寄せて、耳に関する知識をご紹介します。

よく知られているのは気圧の調節機能。高速エレベーターに乗った時や、飛行機の離着陸などで耳が痛くなることがありますが、これは急激に高くなった外気圧で鼓膜が内側に引っ張られるために起こります。つばを飲み込んだりキャンディを舂めたりすると和らぐのは、中耳にある耳管が開いて中耳腔(鼓膜から内耳までの空洞)と外気の気圧を調節するからです。

また、内耳には平衡感覚をつかさどる三半規管があり、回転を感知しています。前転したり、ダンスなどでターンをしてもバランスが取れ位置関係がわかるのは、三半規管のおかげ。さらに、耳が左右にあることで、音が届く時間と音圧の差で音がどの方向から聞こえるかを判断できます。人間は耳を動かさませんが、馬や猫などの動物は耳を自在に動かせるので、あらゆる方向からの音を聞き分けることができます。

耳は単に音を聞くだけでなく、さまざまな働きがあるんですね。

当院は「敷地内全面禁煙」となっております

「腹部大動脈瘤」って、どんな病気？

臨床検査科 佐藤 文昭

前兆もなく急激な症状で発症し生命を脅かす疾患の一つに、腹部大動脈瘤破裂があります。通常は破裂するまで症状がないため、偶然に画像検査で発見されるか、もしくは腹部に拍動性腫瘍を自覚し、自ら病院を受診しない限り気付くことは困難です。しかし、一度発症すると3割ほどしか生存できないとも言われているので、いかに発見し、手術・治療を開始するかが勝負となります。画像診断にはCT、MRI、エコーなどがあり、腹部大動脈瘤は、偶然にCT検査で発見されることが多くありますが、エコー検査時にも同様に偶然発見されることもあります。大動脈瘤の発生には、動脈硬化が強く関係していると考えられていますが、それだけではありません。男性は女性の5倍の有病率があり、一般的には50歳代から拡大傾向になるといわれていますが、特に60歳以上になると増加することがわかっています。また、喫煙習慣や高血圧、家族歴がある人も腹部大動脈瘤になる可能性が高いといわれています。腹部大動脈瘤には色々な種類がありますが手術適応は径45mm以上で、人工血管にステントを取り付けたステントグラフト治療法があります。ステントグラフトで治療を行う場合には、両足の付け根辺りを約3~4センチ切開して、動脈にカテーテルを挿入し、瘤のあるところでステントグラフトを展開し、留置します。ステントグラフトが血管内に留置され、瘤に血液が流れるのをふさいで、瘤の破裂を防ぎます。開腹しないため傷跡が小さく、手術時間は1~2時間程度で、1週間程度の入院で済むのが特徴です。また、他の利点として、開腹術に比べて合併症のリスクが低い、術中の失血量が少ない、術後の集中治療室滞在時間が少ない（もしくは不要）などが挙げられます。腹部大動脈瘤の発見に伴い、その後の継続的な画像検査の実施により、大動脈瘤の進行を確認しながら適切な時期に待機的手術を行うことができることや、大動脈瘤破裂を未然に防ぐことにつながると考えられます。何かありましたら、当検査科にご相談ください。

